



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月7日
上場取引所 東

上場会社名 東海カーボン株式会社
 コード番号 5301 URL <https://www.tokaicarbon.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長坂 一
 問合せ先責任者 (役職名) 理事財務経理部長 (氏名) 平井 直樹 (TEL) 03-3746-5100
 四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績 (2023年1月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	267,675	8.7	29,749	6.2	33,034	2.8	21,375	32.6
2022年12月期第3四半期	246,332	33.1	28,015	58.6	32,132	83.1	16,121	68.6

(注) 包括利益2023年12月期第3四半期 68,677百万円 (26.5%) 2022年12月期第3四半期 54,296百万円 (115.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	100.26	ー
2022年12月期第3四半期	75.62	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	637,322	361,345	51.2
2022年12月期	576,465	300,868	46.6

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 326,115百万円 2022年12月期 268,827百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	ー	15.00	ー	15.00	30.00
2023年12月期	ー	18.00	ー	ー	ー
2023年12月期 (予想)	ー	ー	ー	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想 (2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	363,000	6.6	34,000	△16.2	38,000	△10.6	20,000	△10.8	93.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年12月期3Q	224,943,104株	2022年12月期	224,943,104株
2023年12月期3Q	11,727,130株	2022年12月期	11,748,117株
2023年12月期3Q	213,207,708株	2022年12月期3Q	213,189,325株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、2023年11月8日（水）に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を電話会議方式で開催する予定です。この説明会の資料は、開催日当日に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年1月1日から2023年9月30日まで)の世界経済は、当初、供給制約の緩和や中国経済再開等のプラス要因があったものの、その後は、欧米の高インフレ・高金利の持続や中国経済の減速等を受け停滞感が強まる展開となりました。

米中対立等による世界経済の分断化の進行や、中国経済の下振れ等がリスク要因となり、先行きに係る不確実性が高まっております。

このような情勢下、当社グループにおいては、本年2月に2023年から2025年までの3年間を対象とするローリング中期経営計画「T-2025」を開示いたしました。「主力事業の成長軌道回帰」「事業ポートフォリオの最適化(選択と集中)」「サステナビリティ経営基盤構築」の3つの基本方針を掲げ、2025年の定量目標として、売上高4,840億円、営業利益690億円、ROS14%、EBITDA 1,130億円の達成を目指しております。主力事業である黒鉛電極やカーボンブラックを中心に、原材料価格等の原価上昇を売価に転嫁することにより適正利潤確保を図るとともに、将来の需要拡大を睨んだ生産性の向上と生産能力の増強も着実に進めております。またカーボンニュートラルの実現に向け、2022年2月に発足したカーボンニュートラル推進委員会を中心に、連結ベースでのCO2排出量の削減を進める一方、関連技術の探求・調査にも取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比8.7%増の2,676億7千5百万円となりました。営業利益は前年同期比6.2%増の297億4千9百万円となりました。経常利益は前年同期比2.8%増の330億3千4百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比32.6%増の213億7千5百万円となりました。

セグメント別の経営成績は下記のとおりです。

[黒鉛電極事業]

欧州鉄鋼生産が低迷しており、当社黒鉛電極の販売量も欧州拠点を中心に前年同期と比較して落ち込みました。北米を中心に大口径電極の出荷が増加したため平均売価は上昇したものの、エネルギーコストの高止まりと稼働率低下により製造コストは増加しました。

この結果、当事業の売上高は前年同期比5.1%増の458億9千1百万円となり、営業利益は前年同期比48.3%減の27億4千万円となりました。

[カーボンブラック事業]

タイヤメーカーの生産調整がありましたが、新車用タイヤ需要は回復しており、当社販売数量は前年同期並みとなりました。また、米国を中心とした販売価格の改定により、環境設備投資の減価償却費負担の一部が補填され、前年同期比で増収増益となりました。

この結果、当事業の売上高は前年同期比7.5%増の1,111億3千1百万円となり、営業利益は前年同期比77.2%増の159億2千5百万円となりました。

[ファインカーボン事業]

パワー半導体向け製品や一般産業向け需要は堅調である一方、メモリ半導体向けのエッチング装置にて使用されるSolid SiC製品の販売は、スマートフォンやパソコン需要低下による顧客の在庫調整及び米国の対中半導体規制長期化の影響を受け大きく落ち込みました。

この結果、当事業の売上高は前年同期比12.0%減の324億1千3百万円となり、営業利益は前年同期比32.4%減の75億4百万円となりました。

[スメルティング&ライニング事業]

カソードブロックのユーザーであるアルミ電解炉事業者の操業率は、エネルギーコストの違いで地域的な濃淡が出ているものの、特に新興国向けの出荷が堅調に推移しております。原材料やエネルギーコスト上昇分については、売価へ転嫁することで採算を維持しております。

この結果、当事業の売上高は前年同期比39.1%増の594億8千4百万円となり、営業利益は11億3千5百万円（前年同期営業損失は3億5百万円）となりました。

[工業炉及び関連製品事業]

工業炉及び発熱体の売上高及び営業利益は、主要顧客であるエネルギー関連業界及び電子部品関連業界の需要落ち込みが影響し前年同期比減となりました。

この結果、当事業の売上高は前年同期比17.1%減の98億8千5百万円となり、営業利益は前年同期比22.8%減の25億5千3百万円となりました。

[その他事業]

摩擦材

電磁向け出荷が在庫調整等の影響を受けましたが、建機、二輪、農機向け出荷は堅調に推移し、全体では増販となりました。

この結果、摩擦材の売上高は前年同期比2.2%増の69億8千4百万円となりました。

負極材

EV及びESS（Energy Storage System）向けの販売量増加により前年同期比で販売数量が増加しました。

この結果、負極材の売上高は前年同期比103.9%増の17億8千5百万円となりました。

その他

不動産賃貸等その他の売上高は、前年同期比3.3%減の9千9百万円となりました。

以上により、その他事業の売上高は前年同期比13.5%増の88億6千8百万円となり、営業利益は前年同期比55.0%増の10億8千3百万円となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	70,909	68,662
受取手形及び売掛金	65,197	68,872
商品及び製品	26,198	30,272
仕掛品	41,584	51,080
原材料及び貯蔵品	33,548	33,902
その他	9,528	7,349
貸倒引当金	△274	△318
流動資産合計	246,691	259,822
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	30,944	34,664
機械装置及び運搬具（純額）	90,597	96,192
土地	8,035	12,338
建設仮勘定	44,366	67,030
その他（純額）	8,004	8,737
有形固定資産合計	181,948	218,964
無形固定資産		
のれん	52,837	51,888
顧客関連資産	55,724	55,400
その他	10,276	12,602
無形固定資産合計	118,839	119,891
投資その他の資産		
投資有価証券	22,548	30,920
退職給付に係る資産	2,927	2,864
繰延税金資産	2,210	3,746
その他	1,325	1,136
貸倒引当金	△25	△24
投資その他の資産合計	28,986	38,643
固定資産合計	329,773	377,499
資産合計	576,465	637,322

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,119	21,920
電子記録債務	4,153	3,853
短期借入金	10,940	11,317
コマーシャル・ペーパー	60,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	9,805	3,225
未払法人税等	5,673	2,752
契約負債	2,271	2,869
賞与引当金	3,887	3,768
その他	21,845	21,182
流動負債合計	146,696	130,889
固定負債		
社債	55,000	55,000
長期借入金	35,706	42,230
繰延税金負債	24,171	31,571
退職給付に係る負債	6,567	7,221
役員退職慰労引当金	105	103
執行役員等退職慰労引当金	58	50
環境安全対策引当金	315	387
その他	6,974	8,523
固定負債合計	128,900	145,087
負債合計	275,596	275,976
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,436	20,436
資本剰余金	13,811	13,825
利益剰余金	191,750	206,090
自己株式	△7,236	△7,225
株主資本合計	218,761	233,127
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,587	15,211
繰延ヘッジ損益	274	54
為替換算調整勘定	37,681	75,141
退職給付に係る調整累計額	2,521	2,581
その他の包括利益累計額合計	50,065	92,988
非支配株主持分	32,041	35,229
純資産合計	300,868	361,345
負債純資産合計	576,465	637,322

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	246,332	267,675
売上原価	179,293	194,123
売上総利益	67,038	73,551
販売費及び一般管理費	39,023	43,802
営業利益	28,015	29,749
営業外収益		
受取利息	366	940
受取配当金	471	528
持分法による投資利益	210	279
為替差益	4,452	2,925
その他	391	766
営業外収益合計	5,892	5,441
営業外費用		
支払利息	763	1,100
その他	1,011	1,055
営業外費用合計	1,775	2,156
経常利益	32,132	33,034
特別利益		
固定資産売却益	27	177
投資有価証券売却益	54	24
特別利益合計	82	201
特別損失		
固定資産除却損	581	91
投資有価証券売却損	0	34
固定資産売却損	0	0
関係会社出資金売却損	160	-
事故関連損失	141	-
特別損失合計	883	126
税金等調整前四半期純利益	31,330	33,109
法人税、住民税及び事業税	6,833	7,350
法人税等調整額	4,642	1,743
法人税等合計	11,476	9,093
四半期純利益	19,854	24,015
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,732	2,640
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,121	21,375

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	19,854	24,015
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,030	5,628
繰延ヘッジ損益	△11	△220
為替換算調整勘定	34,937	38,864
退職給付に係る調整額	698	59
持分法適用会社に対する持分相当額	△152	328
その他の包括利益合計	34,441	44,661
四半期包括利益	54,296	68,677
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	49,356	64,298
非支配株主に係る四半期包括利益	4,939	4,378

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	黒鉛電極 事業	カーボン ブラック 事業	ファイ ンカー ボン 事業	スマ ルテ イン グ& ライ ニン グ 事業	工業 炉及 び関 連製 品 事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	43,667	103,350	36,823	42,755	11,923	238,519	7,812	246,332	—	246,332
セグメント間の内部 売上高又は振替高	242	41	124	362	366	1,136	35	1,171	△1,171	—
計	43,909	103,391	36,948	43,117	12,289	239,656	7,847	247,504	△1,171	246,332
セグメント利益又は損 失(△)	5,303	8,986	11,099	△305	3,308	28,393	699	29,092	△1,077	28,015

(注)1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、摩擦材事業、負極材事業及び不動産賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,077百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△976百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない研究開発費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、東海炭素(天津)有限公司の全出資持分を譲渡し、連結の範囲から除外したことにより、前連結会計年度末に比べ、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの資産の金額は、「カーボンブラック事業」セグメントにおいて5,977百万円減少しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	黒鉛電極 事業	カーボン ブラック 事業	ファイ ンカー ボン 事業	スマ ルテ イン グ& ライ ニン グ 事業	工業 炉及 び関 連製 品 事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	45,891	111,131	32,413	59,484	9,885	258,806	8,868	267,675	—	267,675
セグメント間の内部 売上高又は振替高	332	19	80	363	171	967	—	967	△967	—
計	46,223	111,151	32,494	59,848	10,056	259,774	8,868	268,643	△967	267,675
セグメント利益	2,740	15,925	7,504	1,135	2,553	29,860	1,083	30,943	△1,194	29,749

(注)1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、摩擦材事業、負極材事業及び不動産賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,194百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,240百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない研究開発費等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。